

令和4年度第2回宝塚市地域公共交通協議会（書面）の結果

※回答書及び意見用紙により提出いただいた意見をまとめたものです。
地域公共交通計画（案）に対する意見については、パブリックコメントで寄せられた市民の皆様からの意見と一緒に検討したいと思います。

意見	対応
【報告】議案第1号 宝塚市地域公共交通計画(案)について	
兵庫県バス協会 水田委員	
P3-12	
・地図に「日生中央」の表示をしては？	パブリックコメントの意見として取り扱い、全ての意見の対応とあわせて検討します。結果についてはパブリックコメント後の協議会で報告させていただきます。
P5-4	
・「交通事業者や市民と公共交通に関する…情報共有し」となっているので、実施主体に市民は入らなくていいのですか？	パブリックコメントの意見として取り扱い、全ての意見の対応とあわせて検討します。結果についてはパブリックコメント後の協議会で報告させていただきます。
市民委員 井上委員	
P5-28	
・3-1-3 一定の障壁のある人へのタクシー運賃→一定の障壁のある人へのタクシー等運賃 等を入れた方が良い	パブリックコメントの意見として取り扱い、全ての意見の対応とあわせて検討します。結果についてはパブリックコメント後の協議会で報告させていただきます。
P5-29	
・評価指標3-1-①の文に高齢者の後ろに障害者を加えてください。	パブリックコメントの意見として取り扱い、全ての意見の対応とあわせて検討します。結果についてはパブリックコメント後の協議会で報告させていただきます。
市民委員 坂本委員	
P5-18	
・「より安全な移動手段への乗り換えパターン例」という表現の「安全」を「安心」に置き換えれば文章に違和感がないと思う。	パブリックコメントの意見として取り扱い、全ての意見の対応とあわせて検討します。結果についてはパブリックコメント後の協議会で報告させていただきます。
兵庫県 奥跡オブザーバー	
P3-28	
・南部「自動車を利用してきても運賃助成の申請をする人が多い」→「自動車を利用してきてもバスやタクシーを利用数する高齢者が多い」 ・北部「自動車を気軽に利用できなくても運賃助成の申請をしない」→「自動車を気軽に利用できなくてもバスやタクシーを利用しない高齢者が多い」 （現実では運賃助成の必要性を少なくするためだけに自動車を利用できる人はバスやタクシーで移動してほしいというニュアンスを感じる）	パブリックコメントの意見として取り扱い、全ての意見の対応とあわせて検討します。結果についてはパブリックコメント後の協議会で報告させていただきます。
P3-41、P3-45、P3-46、P3-47、P5-6、P5-13	
・「70歳以上の人を対象に」→「70歳以上の人を例に」	パブリックコメントの意見として取り扱い、全ての意見の対応とあわせて検討します。結果についてはパブリックコメント後の協議会で報告させていただきます。
・「すべての年代の人の活動機会指標値を把握するために」→「すべての年代の人の代表的な活動機会指標値のうちの代表例として」	パブリックコメントの意見として取り扱い、全ての意見の対応とあわせて検討します。結果についてはパブリックコメント後の協議会で報告させていただきます。
・「その地区の平均的な活動機会指標値となっています。」→「その地区の代表的な活動機会指標値としています。」	パブリックコメントの意見として取り扱い、全ての意見の対応とあわせて検討します。結果についてはパブリックコメント後の協議会で報告させていただきます。
(70歳以上の人の活動機会指標を算出するだけで、すべての年代の人の活動機会指標を把握したことになる理由、70歳以上の平均的な速度を用いることでその地区の平均的な指標値になる理由が分からない。)	本計画では70歳以上を高齢者の基準として設定しました。（活動機会指標値の算出については（計画書善末資料P9）をご覧ください）活動機会の算出にあたっては、国土数値情報による100mメッシュを居住地として設定し、メッシュの中心をその居住地の住民の場所として居住地ごとの活動機会指標を算出しました。（計画書善末資料P8）なお、歩行速度については既存の研究結果（計画書善末資料P18）を参考にしたことから、70歳以上の人は69歳以下の人よりも歩行速度が遅くなることがわかります。したがって、本計画では70歳以上の人の平均的な速度を用いて活動機会指標値を算出することですべての年代の人の活動機会指標を網羅できると考えています。
P4-14、P4-15	
・「R12年度 目標値100%」評価指標の算出にあたり、駅やバス停まで歩ける人の割合を集めるなら目標値を100%にしても100%にならないのではないか。	評価指標の算出方法については、社会の変化やパーソナルビークルの普及等を鑑みて、POCAサイクルの中で見直しの必要性も含めて算出方法の検討をします。
P5-5	
・ランランバスについて事業主体を記載するべき	パブリックコメントの意見として取り扱い、全ての意見の対応とあわせて検討し、結果についてはパブリックコメント後の協議会で報告させていただきます。
【審議】議案第2号 地域公共交通確保維持改善事業R4年度事業評価	
喜多会長	
別添1、③	
・定期的な会議を開催し→定期的に会議を開催し	・文章を修正しました。
別添1、④	
・せっかく活動機会指標で評価したのでから、それを盛り込んではいかがでしょうか例えば「増加した。以上により～」→「増加した。沿線住民の外出のしやすさを示す活動機会指標値を算出し、ランランバス運行により本地区の移動環境が確実に改善されていることを確認した。以上により～」	・文章を修正しました。
事業評価シート（近畿様式）	
・別添1④と同様、こちらにも活動機会指標での評価結果を盛り込み、「主観的評価に加えて客観的にも把握・評価し、効果が上がっていることを確認している」旨を追記してはいかがでしょうか。	・P8の「具体的取組に対する評価」を修正しました。
兵庫県陸運部 田中委員	
事業評価について	
・事業評価について、評価対象期間がR1.10.1～R2.9.30となっていますが、更新してないだけでしょうか。	・評価対象期間はR3.10～R4.9です。資料説明のためにつけていた書類で、更新を失念していました。
市民委員 田中悦司委員	
近畿様式P4	
・地域にバスを運行したことによる利益や、具体的な利用者数の増加が記載されており大変わかりやすいが、今後の運行地域の人口推移（年齢層の変化等）を見据えた運行計画を立てる等の将来性を考慮した意見を加えておかれるとより良いと思います。また、利用者への周知を重視した上で利用についての改善案や評価などがあれば、参考に記載するの手でしょう。いずれにしても事業として将来性は国・地域にたいする説得力となるため、それを補強する情報を付け加えるのが重要であると考えます。	・地域・事業者・市の3者で運行計画を検討する際は、地域の将来性等を考慮して継続的な運行を目指したいと思います。
兵庫県 奥跡オブザーバー	
近畿様式P4	
・R3.4～R4.1→R3.4～R4.3、「取り組んでいる」→「取り組んだ」とすべき	・文章を修正しました。
近畿様式P6	
・「〇概要」の1行目「武田尾、向かう」→「武田尾駅に向かう」	・文章を修正しました。